



Inspiring a Safe and Secure
Cyber World



(ISC)² CPEハンドブック

コンテンツ

(ISC) ² CPEハンドブックの使い方.....	3
受験者及びメンバーのサポート	3
概要	4
CPE の要件	5
CPEポリシーと手順.....	7
グループAとグループBのCPEクレジット	9
複数の資格を維持する方法.....	10
CPEクレジットの監査.....	10
記録の保存.....	10
不服申立てのプロセス	11
CPEクレジットのロールバー	11
要件を満たしていない場合	11
猶予期間.....	11
(ISC) ² が提供するCPEアクティビティ	12
CPEのカテゴリーと要件	12
教育(グループAまたはグループB)	
専門職への貢献(グループA)	
独自性の高い業務経験(グループA)	
専門能力開発(グループB)	
認定CPEクレジットサブミッター.....	19

(ISC)² CPEハンドブックの使い方

このハンドブックには、あなたの(ISC)² メンバーシップを有効に維持するための方針と手順が記載されています。すべての資格保有者およびアソシエイト(準会員)は、CPEポリシーを理解し、遵守する必要があります。

受験者及びメンバーのサポート

試験結果、エンドースメント、CPE、AMF、プロフィール変更

(ISC)² アメリカ (北米・中南米)

311 Park Place Blvd.

Suite 400

Clearwater, FL 33759 USA

電話: +1-866-331-ISC2 (4722)

1-727-785-0189

membersupport@isc2.org

(ISC)² EMEA

Level 1 Devonshire House One
Mayfair Place London

W1J 8AJ

電話: +44 (0) 203-960-7800

membersupportemea@isc2.org

(ISC)² Asia-Pacific

Unit 807, 8th Floor, Tower 1

The Gateway, Harbour City

25 Canton Road, Tsim Sha Tsui

Kowloon, Hong Kong

Hong Kong S.A.R.

電話: +852.2850.6951

Fx.+852.2850.6959

membersupportapac@isc2.org

日本+81 3 5322 2837

中国+86 10 5873 2896



概要

(ISC)²のメンバーになっていただきありがとうございます。あなたは、サイバー、情報、ソフトウェア、インフラストラクチャのセキュリティ専門家の認定を受けた世界的なネットワークの一員であり、セキュリティ専門職を向上させ、安心して安全なサイバーワールドを実現します。

(ISC)² CPE - Continuing Professional Education (継続的専門教育)-ハンドブックは、認定資格またはアソシエイトを維持するために必要なCPEの要件と活動についての情報を提供しています。認定資格やCPEの要件を維持することで次のようなベネフィットがあります。

- ・ あなたのスキルや経験が業界全体で認められる
- ・ ネットワーク、メンタリング、グローバルリソース
- ・ 求人や業界で注目を集める
- ・ 様々な調査、専門家の指導、業界の見識、継続的な教育にアクセスできる
- ・ (ISC)² 認定の世界的な認知度、価値観、倫理観

あなたの役割は、日々の脅威や脆弱性を常に先取りし、その努力は表に出ないことも多々あります。また、あなたの時間が限られていることも理解しています。(ISC)² の目標は、あなたのスケジュールに合わせて高品質の学習機会を提供し、あなたが認定資格またはアソシエイトのステータスを維持することができるようにすることです。



CPEの要件

認定された(ISC)² メンバーは、3年間の認定サイクルの間に、継続的な専門家教育(CPE)のクレジットを取得し、提出する必要があります。3年間のサイクルで取得したCPEクレジットの合計数は、3年間の認証サイクルで必要とされる最低 CPEクレジットに到達しなければなりません。(ISC)² は、認定資格を維持するための年間推奨取得数を提示しています。

(ISC)² のアソシエイトは年間サイクルで、毎年グループAのCPEクレジットを取得し、申請する必要があります。

これらのCPEのクレジットは、様々な学習活動を通じて取得することができます。

(ISC)² が提供するCPEアクティビティ

CPEカテゴリー

教育(グループAまたはグループB)

専門職への貢献(Aグループ)

専門能力開発(グループB)

独自性の高い業務経験(Aグループ)

CPEの要件

認定	タイプ	年間推奨	3年間の合計
CISSP	グループA	30	90
	AグループまたはBグループ	10	30
	合計	40	120
CSSLP, CCSP	グループA	20	60
	AグループまたはBグループ	10	30
	合計	30	90
CAP, HCISPP, SSCP	グループA	15	45
	AグループまたはBグループ	5	15
	合計	20	60
CISSP-ISSAP/ ISSEP/ ISSMP Concentrations	グループA	--	20
	合計		20

CISSP concentrationを保有している場合は、CISSPの3年サイクルで必要とされるグループAのCPE単位の合計数のうち、20CPE単位がconcentrationに直接関係している必要があります。複数のconcentrationを保有している場合は、各concentrationで20クレジットを取得する必要があります。concentrationのCPE要件は、CISSPのCPE要件に自動的にカウントされます。

アソシエイトプログラム	タイプ	年間必要数	3年間の合計
	グループA	15	--

注意:アソシエイトは、グループBのCPEクレジットを取得することはできません。



CPEポリシーと手順

認定資格やアソシエイトを維持するためには、(ISC)² の認定メンバーとアソシエイトは、最低限のCPEクレジットを取得するとともに、AMF (Annual Maintenance Fee: 年間維持費) を支払わなければなりません。両方の要件は、あなたがメンバーとして良好な状態を維持するために必要です。

認定メンバーの場合、CPE活動は、各認証サイクルの3年間に完了し、認定の有効期限(認証サイクルの終了日)を過ぎてはいけません。(ISC)² のアソシエイトは、CPE活動を年間サイクル内に完了させなければなりません。

認定メンバーは、認定サイクルの開始日と毎年同じ日までに125米ドルのAMFを支払わなければなりません。メンバーの認定サイクルの開始日は、メンバーの認定日となります。(ISC)² のアソシエイトは、50米ドルのAMFを支払う必要がありますが、これはアソシエイトのサイクルの最初の開始日に支払われ、毎年同じ日までに支払う必要があります。

3年間の認定サイクルが終了し、必要なCPEクレジットとAMFの支払い要件の両方を満たすと、認定を受けたメンバーは、新たな3年間の認定サイクルが再認証されます。1年間のアソシエイトサイクルの終了時に、必要なCPEクレジットとAMFの支払い要件の両方を満たした場合、アソシエイトステータスは新たな1年間のサイクルに更新されます。





グループAとグループBのCPEクレジット

グループAのクレジットドメインに関連した活動

グループAのクレジットは、それぞれの認定資格のドメインでカバーされている分野の活動に直接関連するものです。

以下にいくつかの例を紹介します。

- ・ オンラインのオンデマンド、あるいはインストラクター主導の教育コースを受講
- ・ 雑誌や本、ホワイトペーパーを購読
- ・ 本やホワイトペーパー、記事の出版
- ・ 会議(対面またはバーチャル)、教育講座、セミナー、発表会への参加
- ・ 情報セキュリティに関連した発表会の準備や情報セキュリティ教育の実施※(ISC)² 公式トレーニングには適用されません。
- ・ 通常の業務とは異なる、独自性の高いプロジェクトの経験
- ・ プロジェクトのための研究や資格試験に関連した自習
- ・ 官公庁、公共団体、その他の慈善団体でのボランティア活動
- ・ ハイレベルな教育コースの受講

グループBのクレジット専門能力開発

Bグループのクレジットは、それぞれの認定資格に関連する領域以外の総合的な専門スキル、教育、知識、またはコンピテンシーを向上させる一般的な専門能力開発活動を完了した場合に取得できます。これらには、一般的に専門的な話術やマネジメントコースなどのプログラムが含まれています。これらはドメインに直接関連するものではありませんが、(ISC)² はこれらのスキルがすべての専門家とその資格の成長に不可欠であることを認識しています。

以下にいくつかの例を紹介します。

- ・ セキュリティ業界以外のカンファレンスへの参加
- ・ セキュリティ以外の教育講座への参加
- ・ セキュリティ以外のプレゼンテーション/講演/研修の準備
- ・ セキュリティ以外の政府・民間・慈善団体委員会

CPE クレジットの計算

ここでは、各アクティビティで獲得できるクレジット数をご案内します。通常、活動に費やした時間1時間につき1CPEクレジットを取得できます。CPEのクレジットを0.25、0.50、0.75単位で報告することができます。ただし、学習の深さや継続的な取り組みの量によっては、より多くの単位を取得する価値があるものもあります。一般的に、通常のOJTではCPEの単位は取得できません。

CPE活動が複数日に渡って行われた場合、終了日に対応する認証サイクルを判断します。例えば、活動が2020年8月1日に始まり、2020年9月5日に終了した場合、CPEクレジットは、2020年9月5日に有効なすべてのサイクルに適用することができます。

複数の資格を維持する方法

(ISC)² メンバーが複数の(ISC)² 認定資格を保有している場合、提出したCPEクレジットは、修了日時点で自動的にすべての有効な認定資格にカウントされます。

メンバーおよびアソシエイトは、同じCPE活動をメンバーデータベースに複数回入力してはいけません。

グループAクレジットを提出する際には、CPE提出時に、関連するすべてのドメインを選択する必要があります。CPEのクレジットは、メンバーが複数の認定資格を保有している場合、グループAのクレジットとして各認定資格に適用されます。アクティビティがドメイン関連のアクティビティとして他の資格情報に関連していない場合、CPE ポータルで「上記のいずれかに該当しない」を選択すると、他の資格にはグループBのクレジットとして適用されます。

CPEクレジットの監査(audit)

(ISC)² のCPE監査人は、会員およびアソシエイトが提出したCPEクレジットに対してランダムな監査を行います。メンバーは、出席証明または活動内容の簡単な説明を提出する必要があります。これは、(ISC)² の資格情報の完全性を維持し、ANSI/ISO規格の認証に準拠していることを示す重要なプロセスです。

監査に選ばれた場合は、これらの活動をサポートするために必要な書類についての指示がメールで送られてきます。これに対応し、90日以内に指示された通りの情報を正確に提供することが重要です。

記録の保存

提出書類が監査された場合に備えて、CPE活動の証明を保管しておくことをお勧めします。現在の認証サイクルが終了してから少なくとも12ヶ月間は、取得したCPEクレジットの証明を保持することが推奨されます。

取得したCPEクレジットの証明は、コースの成績証明書、授与された卒業証書、証明書、出席証明書または領収書、講演や指導のための調査・予習メモ、公式会議の議事録のコピー、名簿または登録資料の書類などの形で提出することができます。

書籍・雑誌のCPEクレジットは、書籍・雑誌本体、売上明細書、請求書、図書館の記録などの「所持ができる証明」を保管してください。最低限、証明書にはタイトルと、書籍の場合は著者とISBN番号、雑誌の場合は出版社を記載して保管します。

これらの文書はすべて、CPEポータル上のメンバー/アソシエイトの記録に保存することができます。



不服申立てのプロセス

(ISC)² の監査部門によってCPEクレジットの申請が却下された(ISC)² メンバーは、その決定に異議を申し立てる権利を有します。メンバーは、CPEのステータス、CPEのクレジット数、またはその他の関連事項について紛争が発生した場合、否認された日から3ヶ月(90日)以内に書面で不服を申し立てることができます。メンバー・サポート (membersupport@isc2.org) に審査を依頼するためには、2ページ以内の英文書面で、上訴の理由を説明し、関連書類を添えて提出する必要があります。あなたの訴えは、審査の上、適切に(ISC)² Board of Directors(理事)に転送されます。この申し立ては、次回の定例会議でBoard of Directors(理事)に提出され、決定と書面による回答を得ることになります。Board of Directors(理事)の決定は最終的なものとみなされます。

CPEクレジットロールオーバー

CPEクレジットロールオーバーは、直近6ヶ月以内に取得した要件を超過したグループAのCPEクレジットについて、次の認定期間に持ち越されることを言います。例えばCISSPの場合、3年間の前認定サイクルで必要とされた120クレジットを超えた分のうち、最後の6ヶ月に取得したCPEに限り、取得したグループAのCPEを40 クレジットまで持ち越すことができます。持ち越したCPEクレジットは、次の認定サイクルの初年度の年間推奨 CPE クレジット数を満たすことができます。なお、グループBのCPEクレジットはロールオーバーの対象になりません。

要件を満たしていない場合

認定の有効期限から90日以内にCPEの要件を満たさなかった場合は、認定が停止されます。

(ISC)² は、認定が停止されたことをメールでお知らせします。期限までに認定更新要件を満たせない恐れがある場合は、地域のメンバーサポートに連絡してください。

停止状態は最長2年間維持することが可能です。2年経過後、(ISC)² の認定メンバーおよびアソシエイトは失効となり、すべてのメンバー資格は取り消されます。失効した認定メンバーとアソシエイトが復帰を希望する場合は、再受験して試験に合格し、復帰費用として600米ドルを支払う必要があります。

メンバーまたはアソシエイトは、認定が停止および失効した場合、異議申し立てを行う権利があります。

猶予期間

認定の有効期限が終了した後、メンバーとアソシエイトは、すべてのCPEクレジットの提出を完了するために 90日間の猶予期間が認められていますが、クレジットは90日間の猶予期間内に取得しなければなりません。

CPEのカテゴリーと要件

(ISC)² が提供するCPEアクティビティ

CPEクレジット取得の機会

(ISC)² が提供するイベントや活動に参加することで、グループAのCPEクレジットを取得することができます。これらの活動・イベントには以下のようなものがあります。

- ・ (ISC)² 認定コース
- ・ (ISC)² Chapterミーティング
- ・ (ISC)² Chapter役員会
- ・ (ISC)² 認定CPEサブミッターのコース
- ・ (ISC)² InfoSecurity Professional Magazine
- ・ (ISC)² 試験問題開発のSME (Subject Matter Experts)
- ・ (ISC)² JTA調査
- ・ (ISC)² PDIコース
- ・ (ISC)² Safe and Secure ボランティアトレーニング
- ・ (ISC)² Security Congress
- ・ (ISC)² Webinar - 地域別(EMEAおよびAPAC)
- ・ (ISC)² Webinar - e-Symposium
- ・ (ISC)² Webinar - Security Briefing
- ・ (ISC)² Webinar - Solutions Summit
- ・ (ISC)² Webinar - Think Tank Roundtable

CPEルール

- ・ CPEのクレジット数は、以下の活動に適用されます
 - (ISC)² InfoSecurity Professional Magazine: クイズ正解で1誌につき2CPEクレジットを取得可能
 - (ISC)² e-Symposium and Solutions Summit Webinar: 3CPEクレジット
 - (ISC)² Security Briefing およびThink Tank Roundtable Webinar: 1CPEクレジット
 - (ISC)² Safe and Secure オリエンテーション: 1CPEクレジット
- ・ グープAドメインに関連した1時間の参加は、1CPEクレジットに相当します。
- ・ CPEのクレジットは、0.25、0.50、および0.75クレジット単位で申請することができます。

(ISC)² 監査・依頼に対する必要な書類

上記のCPE活動の中には、自動的に記録に追加され、監査の対象外となるものもあります。メンバー及びアソシエイトが正確に記録されるためには、メンバーIDを適切なフォーム/プラットフォームで提供する必要があります。メンバーID番号が提供されない場合は、CPEクレジットがアカウントに適用されません。ご不明な点は、お住まいの地域のメンバーサポートまでご連絡ください。



教育(グループAまたはグループB)

メンバーとアソシエイトは、セキュリティに関する様々なトピックについての自己学習に参加することができます。

CPEクレジット取得の機会

ドメイン(複数可)に対応する自己管理型の学習活動でコンテンツを利用することで、グループAのCPEクレジットを取得することができます。

学習には、次のような活動が含まれます。

- ・ 本、雑誌、ホワイトペーパー
- ・ 講座・セミナー - その他
- ・ 高等教育コース
- ・ (ISC)² 認定コース
- ・ (ISC)² PDIコース
- ・ 専門家の会議(対面またはバーチャル)
- ・ オンラインWebinar、ポッドキャスト、その他のオンラインで提供されるもの
- ・ プロフェッショナル情報セキュリティミーティング
- ・ ベンダープレゼンテーション

CPEルール

- ・ CPEのクレジット数は、以下の活動に適用されます。
 - 書籍 - 1冊につき5CPE単位(250語の説明が必要)
 - 雑誌 - 雑誌1号につき5CPEクレジット(250語の説明が必要)
 - ホワイトペーパー - 250ワードの記述で1つの論文につき1CPEクレジット
- ・ グループAドメインに関連した1時間の参加は、1CPEクレジットに相当します。
- ・ グループBドメイン関連以外の専門能力開発に関連した1時間の参加は、1CPEクレジットに相当します。
- ・ CPEのクレジットは、0.25、0.50、および0.75クレジット単位で申請することができます。
- ・ 1エントリーあたりの最大CPEクレジット数は40を超えてはなりません。
- ・ これらのCPE活動の一部は、CPEポータルを通じて自己申請され、監査される場合があります。

(ISC)²監査・依頼時に必要な書類

取得したCPEクレジットの証明は、コースの成績証明書、授与された卒業証書、証明書、出席証明書または領収書、講演や指導のための調査・学習メモ、公式会議の議事録のコピー、名簿または登録資料の書類などの形で提出することができます。

学んだことを250語以内の簡単な説明文と、証明書や出席証明書を提出する必要がある場合があります。

専門職への貢献(グループA)

メンバー/アソシエイトは、専門的な立場でドメイン関連のコンテンツを開発したり、配信したりすることができます。

業界における知見の創造

認定の専門分野に関連するトピックの新しいコンテンツを作成するためのグループAのCPEクレジットを取得できます。

CPEクレジット取得活動には以下のようなものがあります。

- ・ 執筆、調査、出版
- ・ Webinar、ポッドキャスト、プレゼンテーションの準備時間
- ・ 既存の研修セミナー・教室教材の新規作成・更新 ※(ISC)² 公式トレーニング教材の開発を除く
- ・ パネルディスカッションでSME (Subject Matter Expert)を務める

業界における知見の創造

- ・ CPEのクレジット数は、以下の活動に適用されます。
 - 書籍 - 著者として1冊につき40CPEクレジット、共著者として1冊につき20CPEクレジット、編集者として1冊につき10CPEクレジット
 - 記事 - 著者として記事1本につき20CPEクレジット、共著者として記事1本につき10CPEクレジット、編集者として記事1本につき5CPEクレジット
 - 書籍の1章 - 著者として1章につき20CPEクレジット、共著者として1章につき10CPEクレジット、編集者として1章につき5CPEクレジット
 - プロフェッショナルブログ - 著者としてのブログ1件につき10CPEクレジット、共著者としてのブログ1件につき5CPEクレジット、編集者としてのブログ1件につき2CPEクレジット
 - ホワイトペーパー - 著者としてホワイトペーパー1本につき10CPEクレジット、共著者としてホワイトペーパー1本につき5CPEクレジット、編集者としてホワイトペーパー1本につき2CPEクレジット
 - 既存のトレーニングの準備 - 1日コースは2CPEクレジット、2日コースは5CPEクレジット、5-7日コースは10CPEクレジット、セメスター(12週間以上)は20CPEクレジットに相当

ボランティア活動

ドメインに関連する、非営業的・顧客以外のグループにボランティア、無償サービスを提供することで、グループAのCPEクレジットを取得することができます。

資格取得活動の例としては、以下のようなものがあります。

- ・ セキュリティ専門家組織運営のための理事※これには、Chapterへの貢献は含まれません。
- ・ 政府、公共部門、またはその他の慈善団体の委員会または作業部会
- ・ 認知された委員会でのセキュリティ標準の開発への参加

専門職への貢献(グループA)

CPEルール

- ・ (ISC)² Safe and Secure Online (SSO) プレゼンテーションを配信メンバーは2回のSSOプレゼンテーションを終了した後、合計10単位のグループA CPEを取得することができます(1回限り)。
- ・ 最初の2つのプレゼンテーションを完了すると、メンバーは、追加のプレゼンテーションごとに、1グループA CPEのクレジットを獲得することができます。
- ・ グループAドメインに関連した出席または参加の1時間は、1CPE単位に相当します。
- ・ CPEのクレジットは、0.25、0.50、および0.75クレジット単位で申請することができます。
- ・ 1エントリーあたりの最大CPEクレジット数は40を超えてはなりません。
- ・ これらの単位は、CPEポータルを通じて自己申告され、監査を受けることができます。

(ISC)² 監査・依頼に対する必要な書類

出版物のコピー、講演や授業のための研究・予習ノート、教材サンプル、コースのアジェンダなど
貢献した組織からの手紙または証明書、または参加を示す会議の議事録。

独自性の高い業務経験(グループA)

メンバーとアソシエイトは、学習効果の高い独自性の高いプロジェクトを申請することができます。

独自性の高い業務経験

メンバーとアソシエイトは、独自のプロジェクト、課題、活動、演習に従事している場合、通常の勤務時間内に行われた活動に対して、グループAのCPEクレジットを最大10クレジットまで取得することができます。独自性の高いプロジェクト、課題、活動または運動は、通常の(または日常的な)仕事の責任または業務範囲外にあるものでなければなりません。

CPEルール

- ・ Aグループのみドメインに関連した参加の1時間は1CPEクレジットに相当し、1つの独自性の高い業務経験につき最大10CPEクレジットまで可能
- ・ CPEのクレジットは、0.25、0.50、および0.75クレジット単位で申請することができます。
- ・ これらのクレジットは、CPEポータルを通じて自己申請され、監査を受けることがあります。

(ISC)² 監査・依頼に対する必要な書類

独自性の高いプロジェクトの証明、またはプロジェクトや活動を要約した250字以内の簡単な説明。



専門能力開発（グループB）

メンバーは、職業能力開発活動のためのCPEクレジットを取得することができます。

ドメインに関連しない専門的な開発

メンバーは、マネジメント、対人コミュニケーション、プロジェクト計画、チームビルディングなどの専門スキルの向上を目的としているが、情報セキュリティや保有する資格のドメインに直接関連するものではない活動に対して、グループBのCPE単位を取得することができます。

注意:アソシエイトは、グループBのCPE単位を取得することができません。資格取得活動の例としては、以下のようなものがあります。

- ・ Chapterの結成または運営
- ・ セキュリティ業界以外の会議
- ・ セキュリティ以外の教育講座・セミナー
- ・ セキュリティ以外の政府/民間セクター/慈善団体委員会
- ・ セキュリティ以外のプレゼンテーション/講演/研修の準備

CPEルール

- ・ Bグループのみ:1時間の参加でグループBのCPE1単位に相当します。
- ・ CPEのクレジットは、0.25、0.50、および0.75クレジット単位で申請することができます。
- ・ 1エントリーあたりの最大CPEクレジット数は40を超えてはなりません。
- ・ これらのクレジットは、CPEポータルを通じて自己申請され、監査を受けることがあります。

(ISC)²監査・依頼時に必要な書類

サービスを提供した組織からの確認メール、証明書、その他の書類。

認定CPEサブミッター

認定されたCPEサブミッターは、通常、プロモーション活動の中でそのステータスを公表しています。認定されたCPEサブミッターを通じて取得したCPEクレジットは、メンバーに代わって(ISC)² に提出されます。メンバーとアソシエイトは、認定CPEサブミッターに(ISC)² のID番号を提供する必要があります。活動日から6週間以内にCPEのクレジットが計上されていない場合、メンバーとアソシエイトは、認定CPEサブミッターに直接連絡する必要があります。メンバーとアソシエイトは、重複または欠落している項目を含め、CPEクレジット記録の正確性を確認する責任があります。

メンバーとアソシエイトに代わってCPEクレジットの提出を許可されたサブミッターのリストについては<https://www.isc2.org/Membership/CPE-Partners>をご覧ください。



Inspiring a Safe and Secure
Cyber World

(ISC)² CPEハンドブック